

第1章 経営戦略策定の趣旨

1. 経営戦略策定の目的

江南市水道事業は、昭和 50 年に低廉、清浄、豊富な水を市民の皆様に供給することを目的として事業開始し、40 年以上が経過しました。

現在の水道事業を取り巻く環境は、節水機器の普及や自己水源の有効活用などにより、水需要が低迷し、給水収益が減少する一方で、管路などの老朽化による更新や、耐震化など災害対策への投資も必要となっています。

このような状況の中で、水道事業を将来にわたって安定的に継続するためには、事業運営の効率化を図るとともに、事業経営に必要な財源を確保し、経営の健全化を図る必要があることから、中長期的な視点に立った経営の基本計画となる江南市水道事業経営戦略（以下、「本市経営戦略」という。）を策定します。

2. 経営戦略の位置付け

本市経営戦略は、「公営企業の経営に当たっての留意事項について（平成 26 年 8 月 29 日付総務省通知（総財公第 107 号・総財営第 73 号・総財準第 83 号））」に基づき将来にわたって安定的に事業を継続していくための経営の基本計画であり、江南市水道事業の今後 10 年間における経営の基本的な考え方、投資試算や財源試算、収支ギャップの解消など経営健全化の取り組みを定めるもので、経営戦略の位置付け（図-1.1）のとおり、「第 6 次江南市総合計画」や、「江南市水道ビジョン」との整合性を図ります。

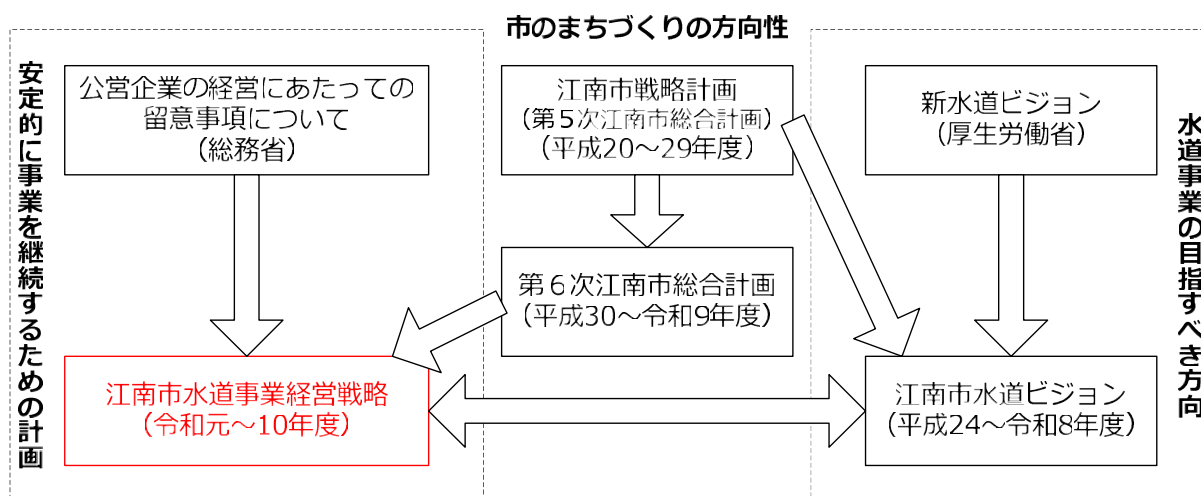


図-1.1 経営戦略の位置付け

3. 経営戦略の基本理念

江南市水道ビジョンの基本理念「みんなの水道、みんなでつなぐ自然の恵みをいつまでも」と理念を実現するために掲げられた7つの目標（①安心して飲める水道水の提供 ②適正な施設運転・維持管理 ③災害に強い水道システムの実現 ④計画的な施設更新 ⑤持続可能な経営基盤の構築 ⑥利用者に親しまれる水道事業 ⑦環境保全への貢献）を本市経営戦略の基本理念とします。

4. 経営戦略の策定方法

「公営企業の経営に当たっての留意事項について」に従い、経営戦略の構成と策定プロセス（図-1.2）のとおり、今後20年間の投資試算と財源試算を推計したうえで、経営健全化への取り組みを踏まえて、投資と財源が均衡するように調整した投資・財政計画を策定します。

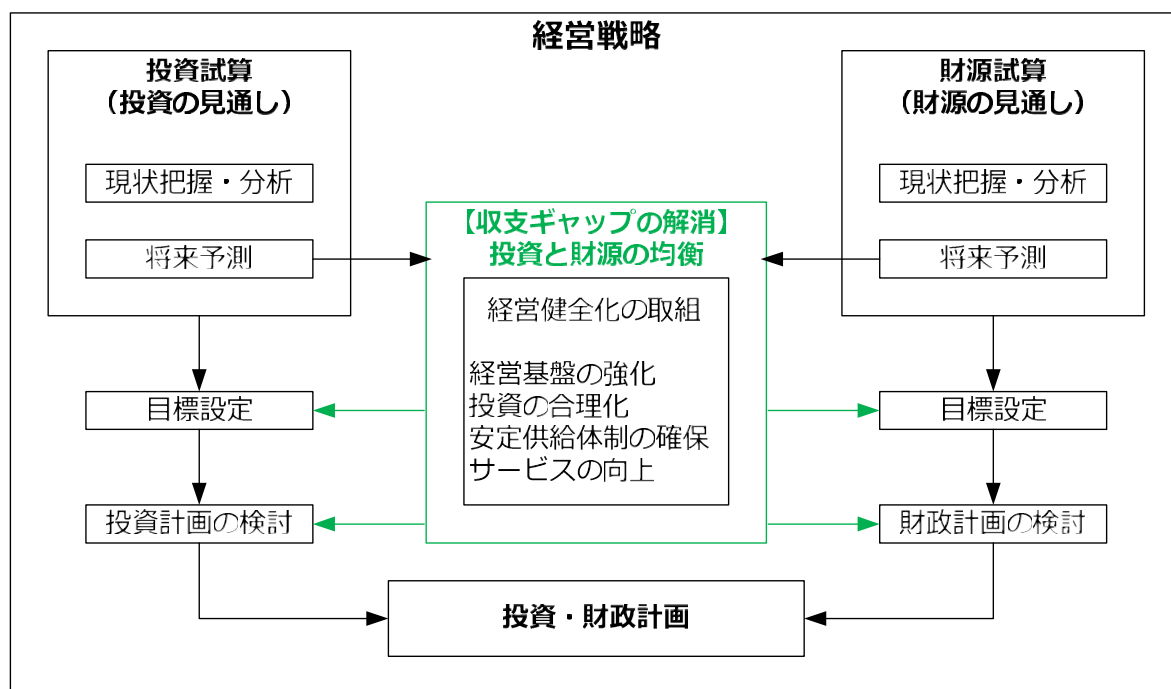


図-1.2 経営戦略の構成と策定プロセス

5. 経営戦略の計画期間

本市経営戦略は、経営戦略策定・改定ガイドライン（平成31年3月）に示された「中長期的な視点から経営基盤の強化等に取り組むことができるように、投資・財政計画の期間は10年以上を基本とすること。」に基づき、令和元年度から10年度までの10年間の計画とします。